

女性協拡大常任委員会 開かれる

春闘での成果の報告、課題の検討など



女性協議会

女性協議会の各地連代表が集まる女性協拡大常任委員会が、7月7日労連本部で行われ、六地連、一支部連、本部を含めて二八人が出席し、活発な意見交換がなされました。以下、各地連の報告です。

北海道地連

北海道放送では、七年ぶりに一部でベア獲得。札幌テレビではベビシッター育児支援事業を導入。

東北地連

岩手放送では、三歳までだった育児時短を就学時まで延長する回答を勝ち取った(時短は無給)。東北放送では、現在一年とされている育児休業を延長するとの意向をとる。最長で三年まで取得できる見込み。福島放送では、育見休業補

北信越地連

福井テレビでは、育児休業が勤続年数に算入されることに。北陸放送では、アナウンサー一般職に限り、女性は契約社員や派遣社員が多い(男性の派遣社員は皆無)。北日本放送では局長などの管理職を勤めた女性社員が「役職定年」を機に定年を待たずに退職する例が相次いでいる。

近畿地連

毎日放送では、女性の報道局長が誕生。育児休業補助金が月額五万から一〇万円に。これで、準キー局は一〇万円で揃った。読売テレビでは、育児・介護目的の半年休制度が新設されたほか、ベビシッター制度が小学三年度末まで使用可能。

中四国地連

広島テレビでは、一部を除いて、要求していた範囲の旧姓の使用が認められた。広島ホームテレビでも旧姓使用が認められた。7月1日付で「セクシャルハラスメント・パワーハラスメント」禁止規定」を制定。部長以上の扶養手当がカット。組合では扶養手当全面カットには断固反対を続ける。西日本放送では女性社員の採用が平成5年(アナウンサー採用)以降なし。アナウンサー

●女性協
URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>



活発な意見交換が

使用が認められた。広島ホームテレビでも旧姓使用が認められた。7月1日付で「セクシャルハラスメント・パワーハラスメント」禁止規定」を制定。部長以上の扶養手当がカット。組合では扶養手当全面カットには断固反対を続ける。西日本放送では女性社員の採用が平成5年(アナウンサー採用)以降なし。アナウンサー

一は関連からの派遣社員、契約アナウンサーになってしまっている。南海放送では昨年度六人の女性従業員が出席、それぞれ育児休業中、育児休業後職場復帰。春闘で育児時間の延長が取り決まった。男性にも枠を広げたい。高知放送、愛媛放送、日本海テレビでは、共通してアナウンサーが派遣・契約移行されていることが問題ではないかと今後の課題となっている。

九州地連

九州朝日放送では昨春と今春、派遣アナウンサー(各一人)が入った。社員アナも派遣アナも勤務実態があまりにもハードなため、どう対応していくか検討中。ライフワークバランスがとれるような環境を作るため、会社側に求められている。TVQでは、数年前から組合が提案していた「半休制度」が、人事システムが整い次第運用予定。サガ

東京支部連

年一回、海苔を販売して活動費を捻出。継続して東京支社に働く女性のつどいを開催しているが、女性組合員の結果が課題。昨今組合員が減少、ママの会も縮小している。

日本テレビ

評価ランクの簡素化と基準の明確化を要求し、評価ランクが八段階から五段階に。無認可保育園や幼稚園の保育料、高校から大学までの学費が補助されることに。

テレビ朝日

「不妊治療休業規程」を新設。不妊治療が必要となる状態に至ることに一回、通算一年を限度として、本人の希望する期間休職でき

民放東京支社に働く女性の集い

第四回民放・東京支社に働く女性の集いが、7月14日(東京)で開かれ、四〇人が参加した。

吉野行委員長(札幌テレビ)の挨拶で、私生活の悩みや、武蔵大学教授の小玉美恵子氏が「ジェンダーでテレビを斬る」CM・番組のメタアナリシス」と題して講演を行いました。男女差別的表現とは何か、そのチェックポイントなどを説明していただき、事例としてイギリスのCMと「たけしのTVタックル」で「エンター・フリー」を見ている女性を恐れない自分にお金をかける、です。なを指摘しました。ジェンダー問題に関わっている人も番組を見て「問題ない」と考えた人が多かったとのこと。それだけ巧みに構成された番組だと解説。最後に、民放で働く人へ放送を公共的だと思っている人が少ない。公共的ということ意識してほしい」と提言しました。

次に、今年2月まで日本テレビに勤務されていた早川志志子氏が「まっすぐ曲がって、ゆっくり急いで」私のキャリア道三七年」と題して講演を行いました。日本テレビ時代の三七年を語ったあと、早川氏が仕事に対する姿勢として七つの原則を披露してくださいます。①一貫する②利害で権力をつかない③敵を間違えない④大変なこと、困難なことは教師と思う⑤言いたいことはTPOを考えたてきちゃんと主張する⑥嫌われることを恐れない⑦自分にお金をかける、です。なを指摘しました。ジェンダー問題に関わっている人も番組を見て「問題ない」と考えた人が多かったとのこと。それだけ巧みに構成された番組だと解説。最後に、民放で働く人へ放送を公共的だと思っている人が少ない。公共的ということ意識してほしい」と提言しました。



CMと番組を視聴して意見交換

「男性の発言時間のほうが長い」と、視聴者は男性の意見に傾く。「実際は正しくなくても、ナレーションが言っていることは正しい」と思っている。ことなど、来年のつどいに向けて意見交換をしました。最後に、労働女性協議会の定期大会を10月13日(日)(東京)で開催することを確認して、会議を終了しました。

の意見に傾く。「実際は正しくなくても、ナレーションが言っていることは正しい」と思っている。ことなど、来年のつどいに向けて意見交換をしました。最後に、労働女性協議会の定期大会を10月13日(日)(東京)で開催することを確認して、会議を終了しました。